



診してください。

- 本市で設置している「帰国者・接触者相談センター」については、下記の本市公式ウェブサイトをご覧ください。

帰国者・接触者相談センター一覧（名古屋市）

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000125533.html>

- 新型コロナウイルス感染症の詳細な情報については下記リンク等をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症について（厚生労働省）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

新型コロナウイルスに関連する肺炎について（名古屋市）

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000124556.html>

〔新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします〕

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター（集団）の発生を防止することが重要です。

日頃の生活の中で 3つの「密」 が重ならないように工夫しましょう。



（出典：厚生労働省 HP、首相官邸 HP より）

〔名古屋市及び愛知県における新型コロナウイルス感染症患者の発生状況：8月11日現在〕

8月11日現在、名古屋市内では 1850人 の感染者（再陽性患者件数を含む）が確認されています。感染者情報の詳細については下記リンクより 記者発表資料 をご覧ください。

- 市内の新型コロナウイルス発生状況（名古屋市）

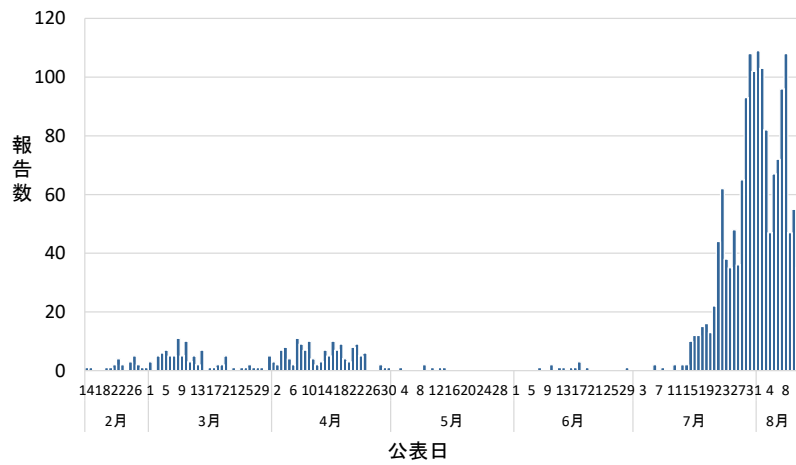
<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000126920.html>

- 愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト（愛知県）

<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/>

## 〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数①（8月11日現在）〕

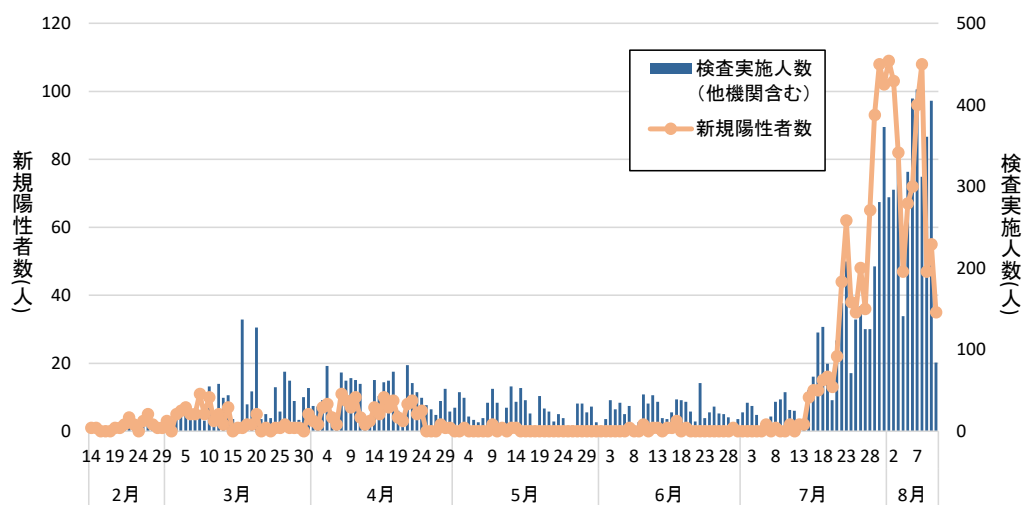
新型コロナウイルス感染者数(名古屋市 n=1850)



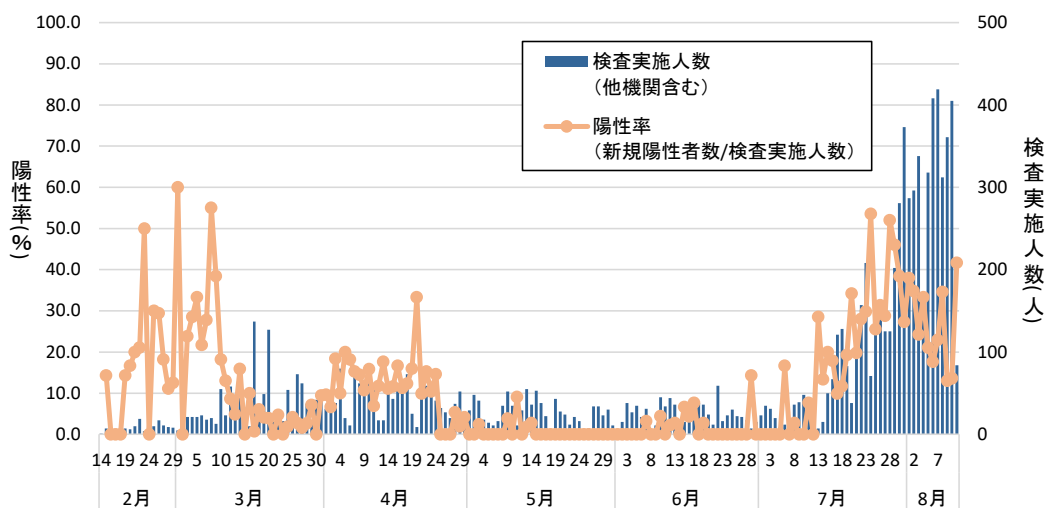
## 〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数②（8月11日現在）〕

掲載データは、本市公式ウェブサイト「市内の新型コロナウイルス発生状況」の「名古屋市の陽性患者・検査実施人数データ（2020年8月11日時点）」を使用しています。検査実施人数は、本市の疑い患者としてPCR検査を行ったものを掲載しており、名古屋市衛生研究所、名古屋市PCR検査所での実施数のほか、発表時点で本市が把握している他機関の検査数も含まれます。（陽性患者の陰性化確認のための検査は除く。）掲載している数値については速報値であり、後日修正されることがあります。

### 新規陽性者数と検査実施人数(名古屋市)



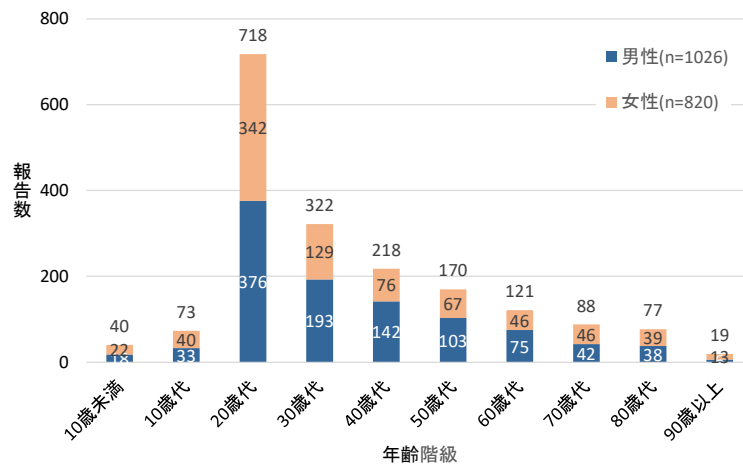
### 陽性率と検査実施人数(名古屋市)



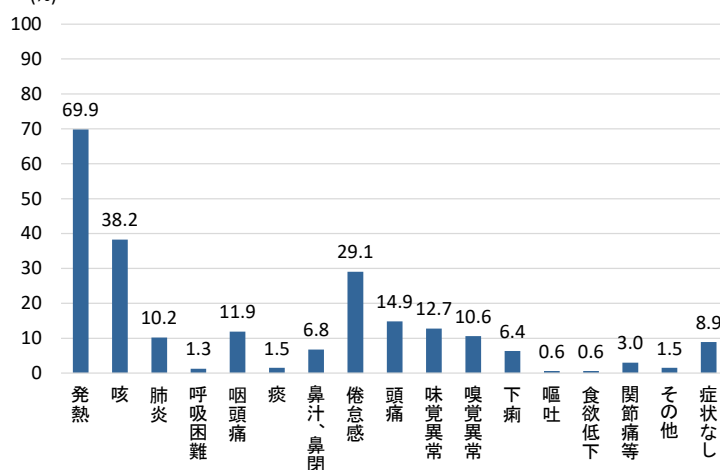
## 〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数③（8月11日現在）〕

本市記者発表資料より集計。年齢非公表及び調査中の患者を除く。

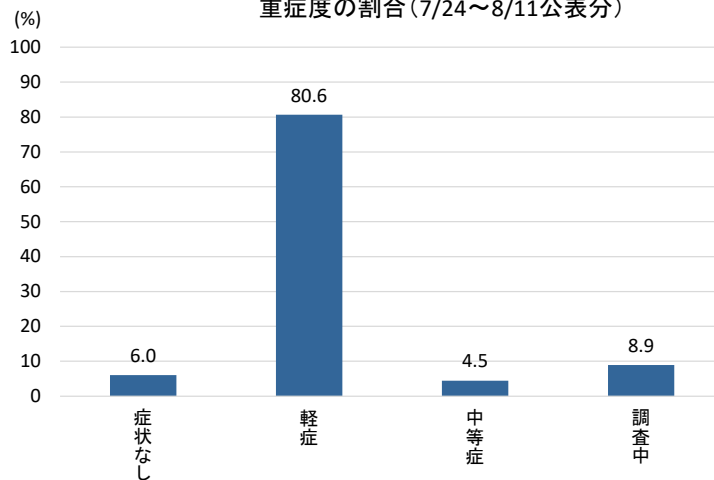
性別・年齢階級別報告数(名古屋市)



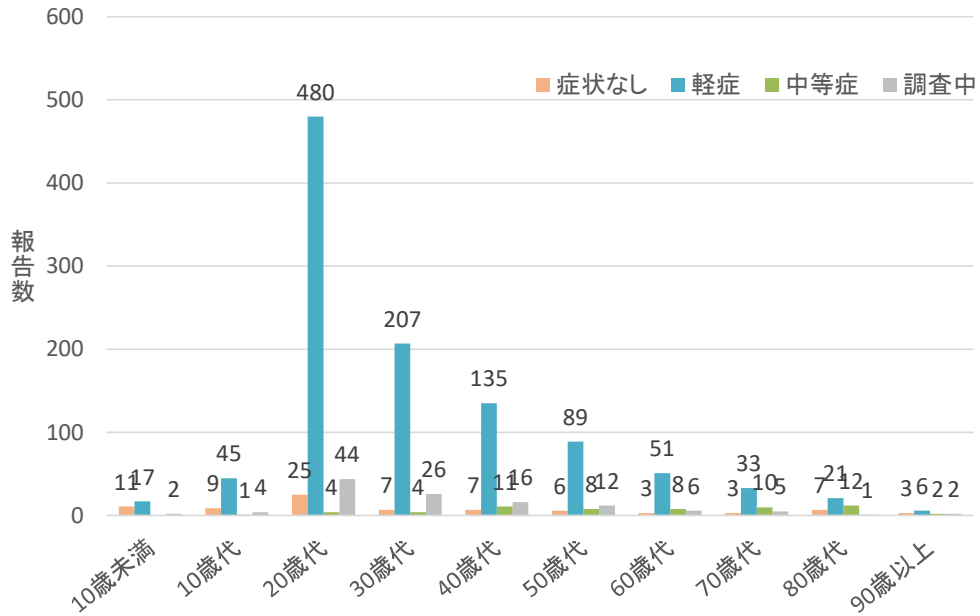
症状の割合(2/14~7/23公表分)(重複計上)



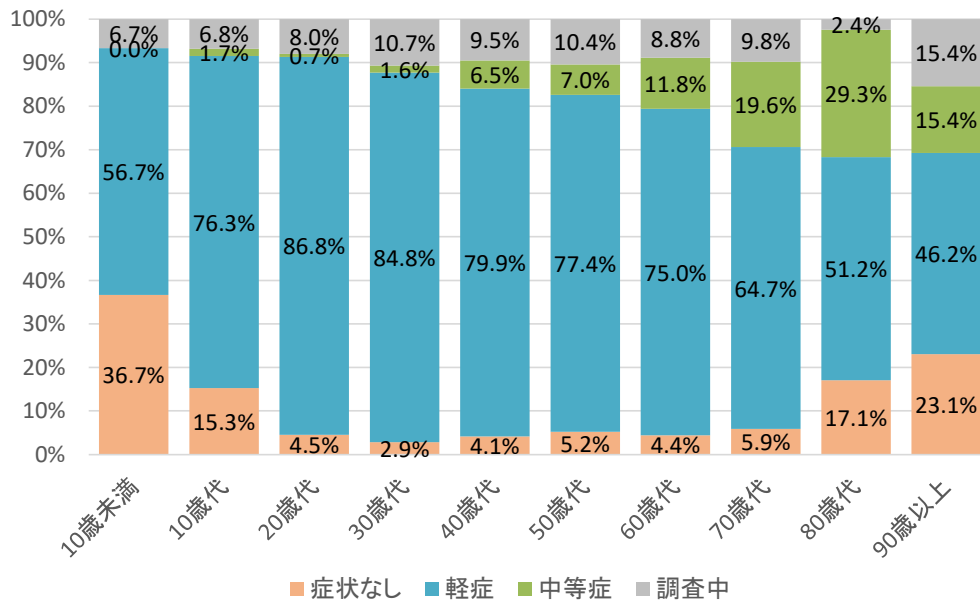
重症度の割合(7/24~8/11公表分)



重症度・年齢階級別感染者数(7/24～8/11公表分)



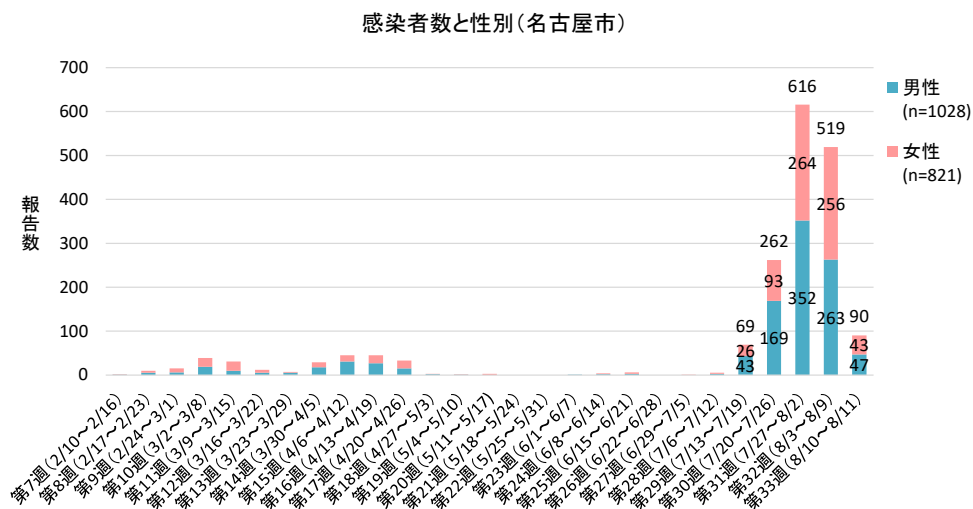
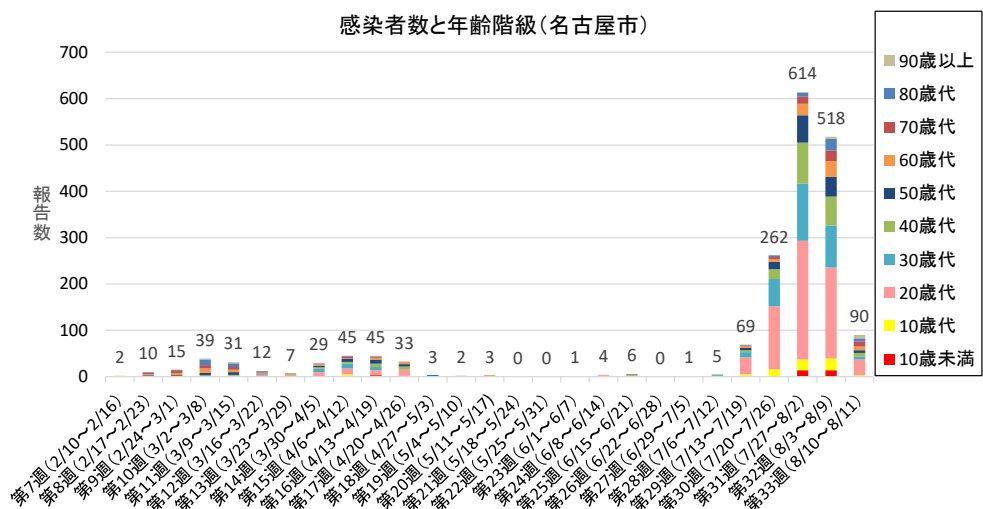
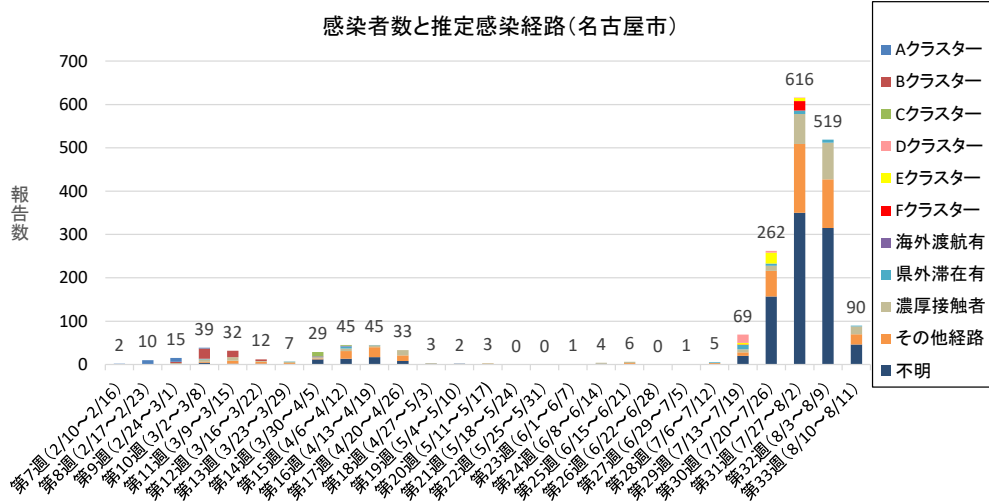
重症度・年齢階級別の割合(7/24～8/11公表分)



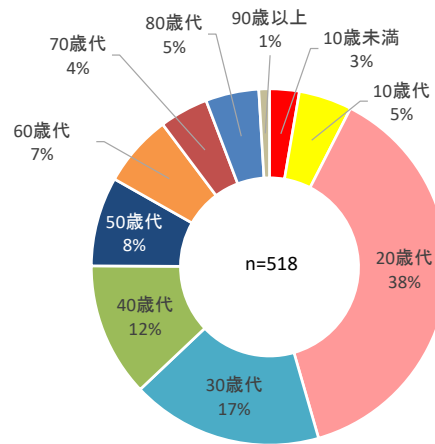
(患者の重症度は公表時時点)

## 〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数④（8月11日現在）〕

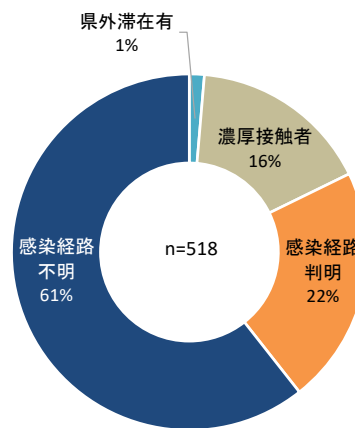
推定感染経路は本市記者発表資料等を参考に当所にて推定したものの。報告数は公表日の患者数を集計。年齢階級は非公表及び調査中の患者を除く。なお、その後の訂正などにより変更される場合があります。



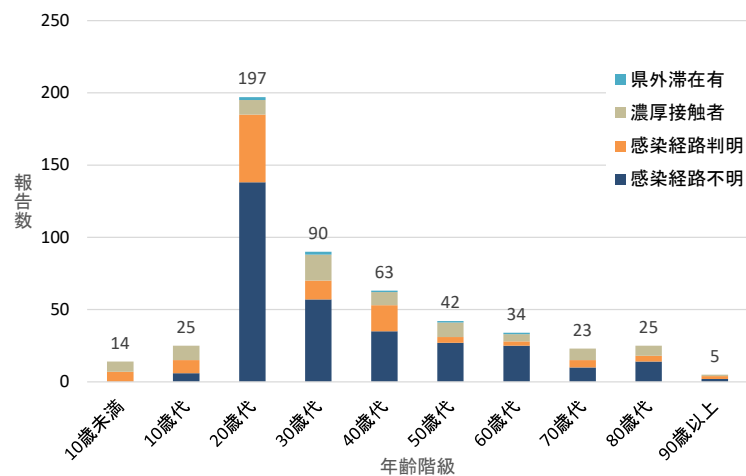
年齢階級別感染者数の割合(第32週: 8/3~8/9)



推定感染経路別感染者数の割合(第32週: 8/3~8/9)



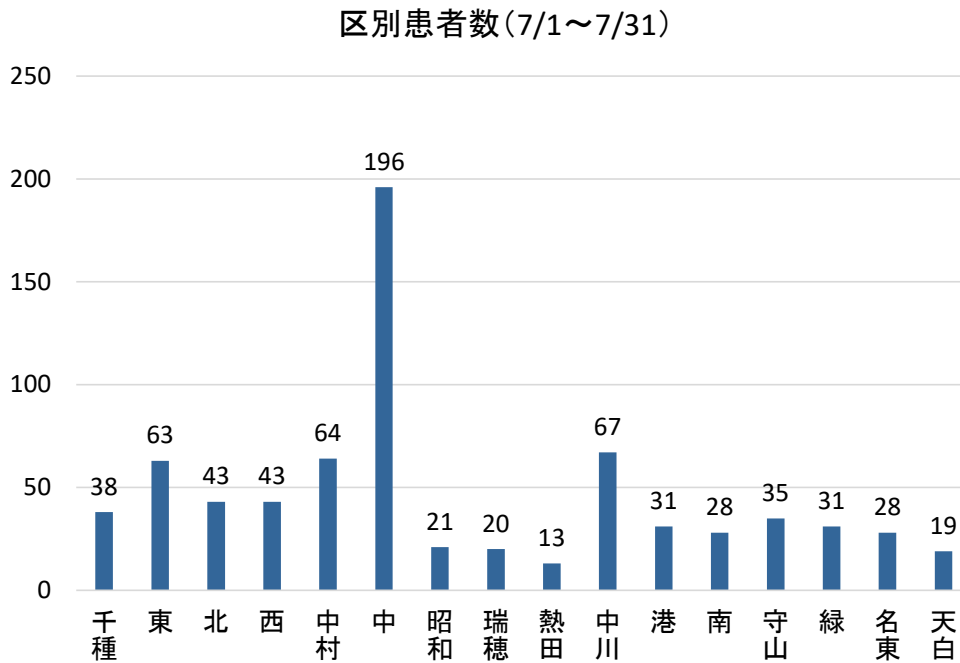
年齢階級と推定感染経路(第32週: 8/3~8/9 n=518)





〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数⑤（8月11日現在）〕

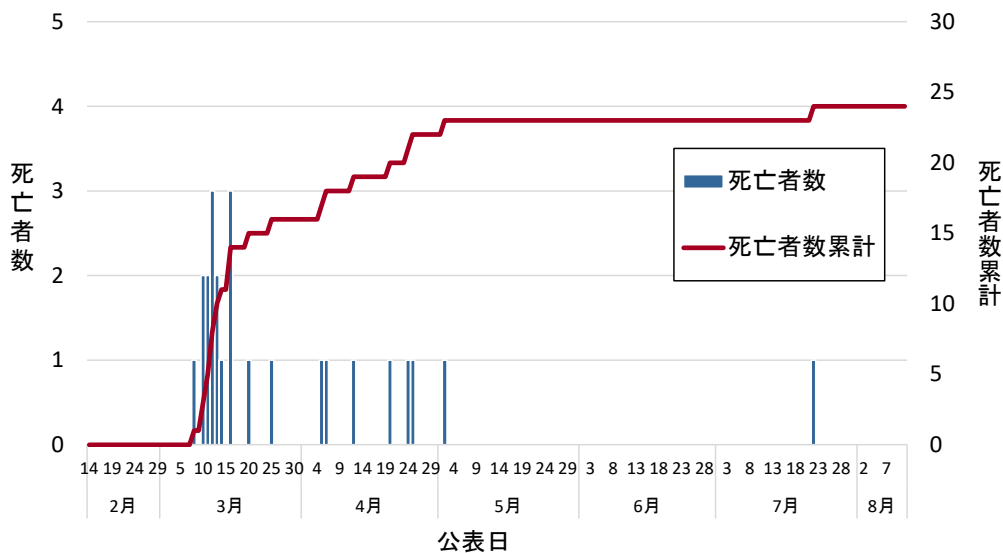
掲載データは、本市新型コロナウイルス感染症対策特設サイトの「【参考】7月の区別患者数（令和2年7月31日時点）」を使用しています。区別患者数は、発表時時点で把握している患者居住区であり、実際の感染エリアであるとは限りません。



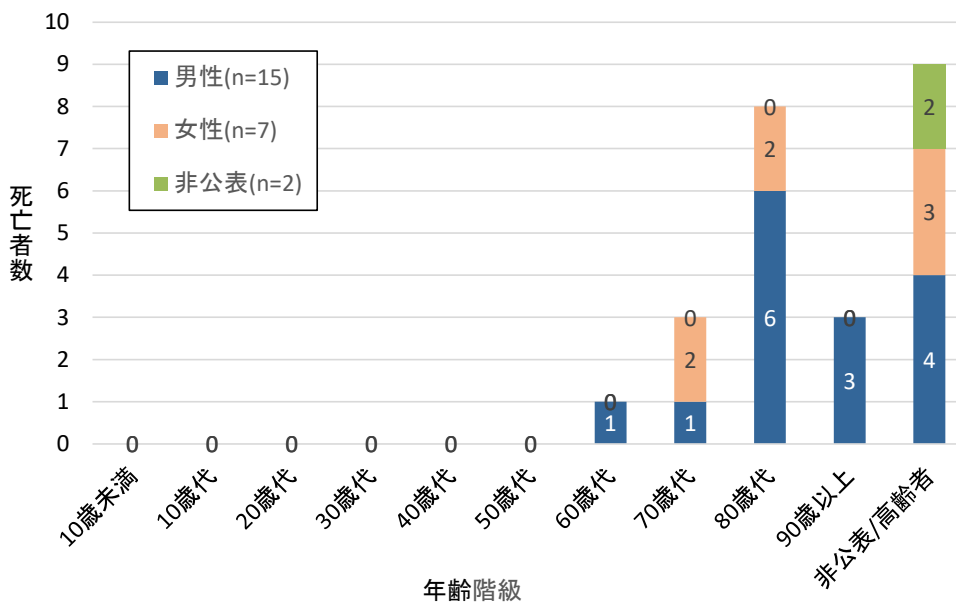
〔名古屋市における新型コロナウイルスに関連した死亡者（8月11日現在）〕

8月11日現在、新型コロナウイルスに関連した死亡者は名古屋市内24人となっています。

新型コロナウイルス死亡者数(名古屋市 n=24)



性別・年齢階級別死亡者数(名古屋市)



◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

- 特記することなし。

〔1類～5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2020年 第32週	2類	結核	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 女性、66歳、咽頭結核</li> <li>• 女性、98歳、結核性胸膜炎</li> <li>• 男性、89歳、結核性胸膜炎</li> <li>• 女性、68歳、肺結核</li> <li>• 男性、78歳、肺結核</li> <li>• 男性、77歳、肺結核</li> </ul>
2020年 第32週	指定	新型コロナウイルス感染症	502	• 下に別記載
2020年 第32週	3類	腸管出血性大腸菌感染症	1	• 女性、22歳、感染地域：不明、血清型・毒性型：不明 VT2
2020年 第32週	4類	A型肝炎	1	• 女性、87歳、感染地域：愛知県
2020年 第32週	4類	レジオネラ症	1	• 男性、72歳、肺炎型、感染地域：名古屋市
2020年 第32週	5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	• 女性、93歳
2020年 第32週	5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	• 女性、1歳、菌検出検体：血液
2020年 第32週	5類	梅毒	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 女性、22歳、早期顕症梅毒 1期</li> <li>• 男性、71歳、晩期顕症梅毒</li> </ul>

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

## 新型コロナウイルス感染症

重症度(縦) 年代(横)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	10歳未満	総計
症状なし	6	9	4	3	3	1	1	7	3	6	43
軽症	18	170	74	48	31	24	14	13	1	8	401
中等症	0	1	2	6	2	5	5	6	1	0	28
調査中	1	9	8	3	3	3	2	0	1	0	30
総計	25	189	88	60	39	33	22	26	6	14	502

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2020 年 第 30 週	2 類	結核	1	・男性、85 歳、肺結核
2020 年 第 30 週	5 類	後天性免疫不全症 候群	1	・男性、30 歳、無症状病原体保有者、感染経路： 同性間性的接触、感染地域：国内
2020 年 第 29 週	5 類	後天性免疫不全症 候群	1	・男性、35 歳、無症状病原体保有者、感染経路： 異性間性的接触、感染地域：不明

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

### 〔2020 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	290 (61) [0] [0] [1]
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロ ナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
指定感染症	新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属の コロナウイルス（令和 2 年 1 月に、中華人民共和国から世界保健 機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告され たものに限る。）であるものに限る。）	1774

# NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

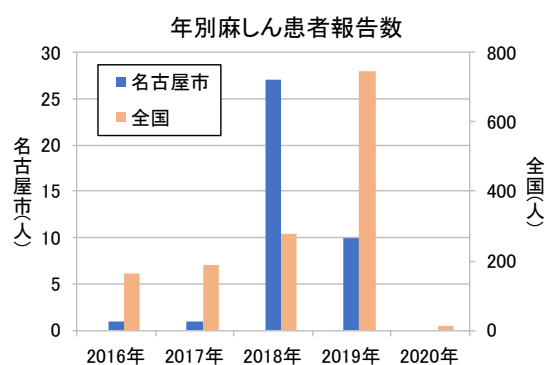
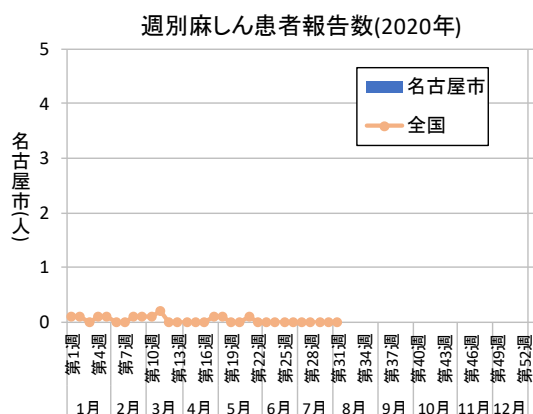
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	0
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	21
3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	0
4 類感染症	デング熱	3
4 類感染症	A 型肝炎	3
4 類感染症	E 型肝炎	2
4 類感染症	レジオネラ症	15
5 類感染症	アメーバ赤痢	12
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	25
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	6
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	37 (34)
5 類感染症	シアルジア症	1
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	32
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	5
5 類感染症	梅毒	96 (32)
5 類感染症	播種性クリプトコックス症	1
5 類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
5 類感染症	百日咳	45
5 類感染症	風しん	7
5 類感染症	ウイルス性肝炎	3

累計は 2020 年第 1 週からの診断週による累計、( ) 内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[ ] 内は疑似症累計数を再掲、【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔名古屋市の麻しん報告数：2020年8月12日作成〕



週別麻しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週	第4週	第7週	第10週	第13週	第16週	第19週	第22週	第25週	第28週	第31週	第34週	第37週	第40週	第43週	第46週	第49週	第52週	第32週(8月9日)までの合計(人)

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

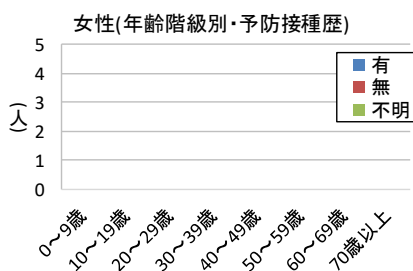
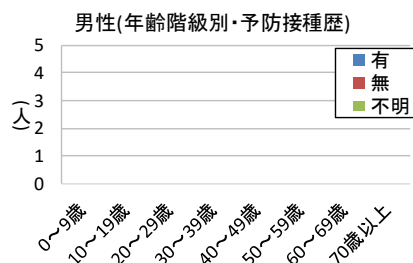
年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27	10	0※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37	41	2※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	279	744※3	12※2

※1 第32週(8月9日)まで ※2 第31週(8月2日)まで ※3 報告数は速報値

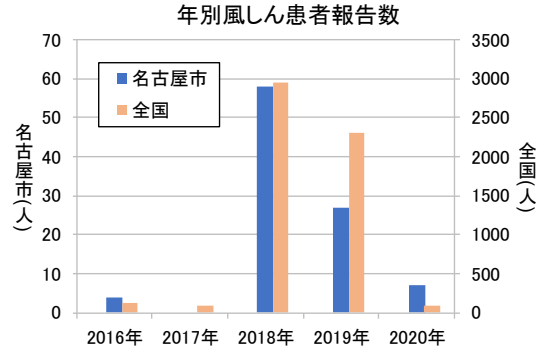
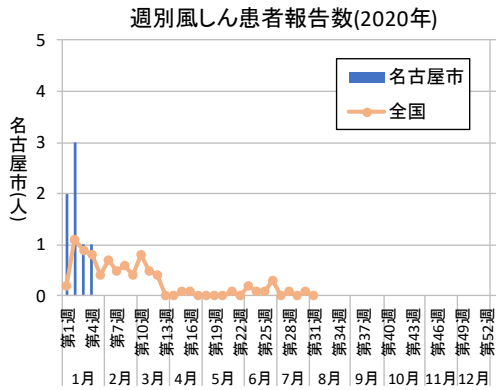
麻しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

		予防接種歴			
		有	無	不明	総計(人)
男性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳				0
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)				0
女性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳				0
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	0	0	0	0
	総計(人)	0	0	0	0



(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2020年8月12日作成〕



### 週別風しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週 (12/30~ 1/5)	第2週 (1/6~ 1/12)	第3週 (1/13~ 1/19)	第4週 (1/20~ 1/26)	/				第32週(8月9日)までの合計(人)
		2	3	1	1	/			

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

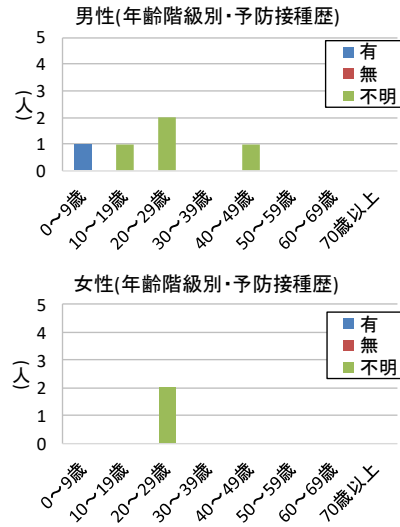
### 年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58	27	7※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	118	59	7※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	91	2946	2306※3	85※2

※1 第32週(8月9日)まで ※2 第31週(8月2日)まで ※3 報告数は速報値

### 風しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

	年齢階級	予防接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0~9歳	1			1
	10~19歳			1	1
	20~29歳			2	2
	30~39歳				0
	40~49歳			1	1
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	1	0	4	5
女性	0~9歳				0
	10~19歳				0
	20~29歳			2	2
	30~39歳				0
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	0	0	2	2
	総計(人)	1	0	6	7



### 風しん患者情報(2020年名古屋市)

No	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	2020.1.4	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
2	2020.1.5	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
3	2020.1.8	20歳代	女	不明	国内(愛知県 名古屋市)
4	2020.1.9	5歳	男	有	国内(愛知県)
5	2020.1.11	10歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
6	2020.1.14	20歳代	女	不明	国内(愛知県 名古屋市)
7	2020.1.23	40歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

感染性胃腸炎の内訳：カンピロバクター・・・4 歳女 児 1 名 サルモネラ菌・・・2 歳男児・6 歳男児	定点医療機関（千種区）
---	-------------



## ◆2020年第32週 患者報告数(疾病別)、定点あたり患者報告数(疾病別)、年齢階層別患者報告数(疾病別)

### 患者報告数(名古屋市)

2020年第32週(2020年8月3日~8月9日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ																	0		0.0
○RSウイルス感染症																	0		0.0
○咽頭結膜熱	1	1		1						2							5	0.6	0.3
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1		4		1	3				3	1	1				15	1.3	0.4
○感染性胃腸炎	4	1	10	7	14	1	1			2	9	5	2	6	3	6	71	0.6	0.7
○水痘																	0	0.0	0.0
○手足口病				2						1						1	4	1.3	0.0
○伝染性紅斑	5																5	5.0	0.3
○突発性発疹	1		1	8							1		1	2			14	0.8	1.1
○ヘルパンギーナ														1		1	2	0.4	0.0
○流行性耳下腺炎				3						1							4	4.0	0.9
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎																1	1		0.3
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎																	0		0.0
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		0.0
計	12	3	11	25	14	2	4	0	0	6	13	6	4	9	3	9	121		

\*過去3年の同週の平均値との比

★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

★○△◇は定点種別を示す。

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

### 定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2020年第32週(2020年8月3日~8月9日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均	
インフルエンザ																		
RSウイルス感染症																		
咽頭結膜熱	0.2	0.3		0.3						0.5							0.1	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.2	0.3		1.0		0.3	0.6				0.8	0.3	0.2				0.2	
感染性胃腸炎	0.8	0.3	2.0	1.8	2.8	0.3	0.2			0.5	2.3	1.3	0.4	1.5	0.8	1.5	1.0	
水痘																		
手足口病				0.5						0.3							0.3	0.1
伝染性紅斑	1.0																	0.1
突発性発疹	0.2		0.2	2.0							0.3		0.2	0.5				0.2
ヘルパンギーナ														0.3				0.0
流行性耳下腺炎				0.8						0.3								0.1
急性出血性結膜炎																		
流行性角結膜炎																	1.0	0.1

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

#### 流行警報・注意報について

■ **太字の数字** は流行発生警報

■ **斜体の数字** は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

# NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

## 年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2020年第32週(2020年8月3日~8月9日)

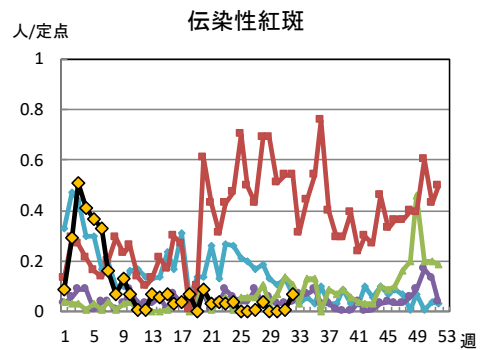
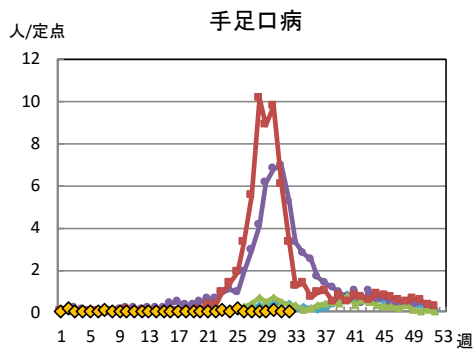
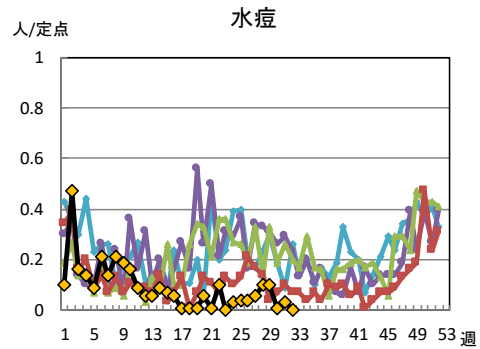
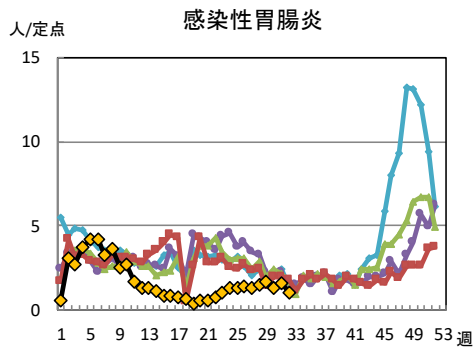
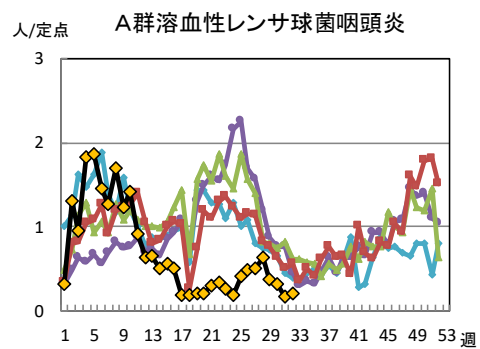
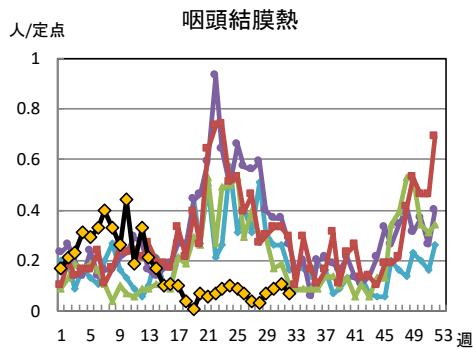
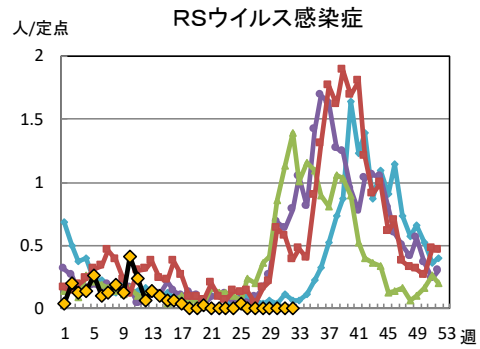
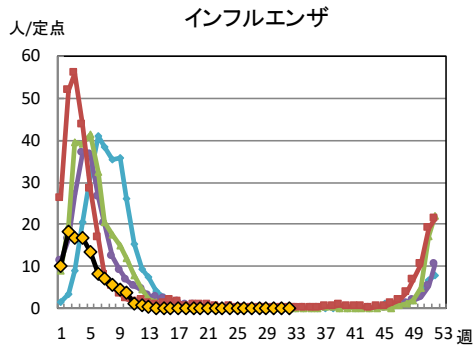
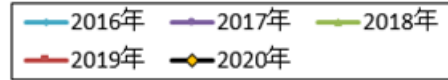
疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ																				

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症														
咽頭結膜熱			1			2		1	1					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2	2			2	2	2				2	3
感染性胃腸炎			8	4	6	3	1	2	3	3	2	8		31
水痘													1	
手足口病			2			1								
伝染性紅斑		1		1	1				2					
突発性発しん		2	8	2		1	1							
ヘルパンギーナ		1	1											
流行性耳下腺炎					2	1		1						

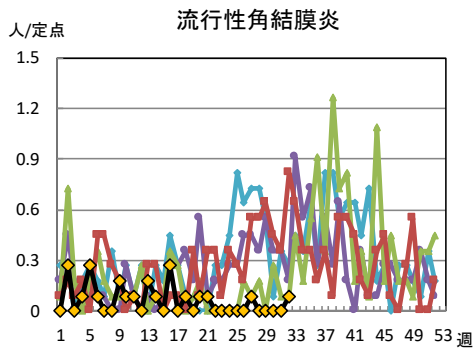
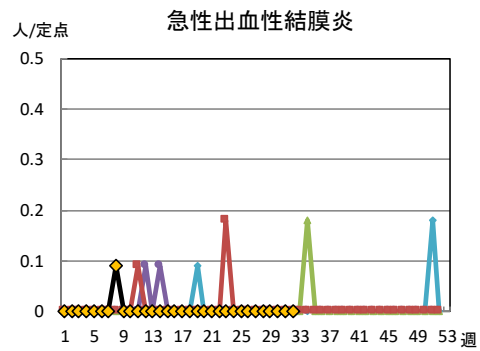
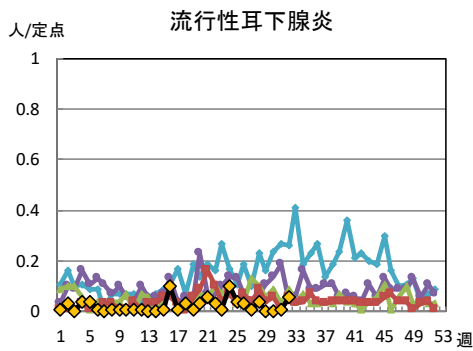
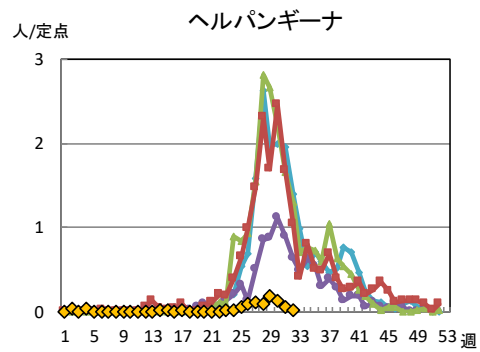
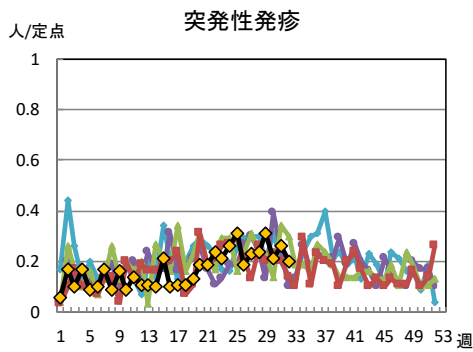
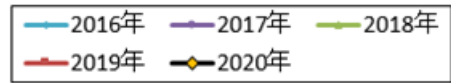
疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎																			
流行性角結膜炎														1					

疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの  
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2020年第32週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの  
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2020年第32週まで



## ◆ 基幹病院定点月報の集計結果〔2020年7月分〕

基幹定点数：3（西部医療センター(北)、名古屋第二赤十字病院(昭和)、名古屋掖済会病院(中川)）

表1. 基幹定点報告、区別患者報告数(名古屋市)

2020年7月

疾患 / 区	北	昭和	中川	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1		1
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				0
薬剤耐性緑膿菌感染症				0
計	0	1	0	1

表2. 基幹定点報告、年齢階級別報告数(名古屋市)

2020年7月

疾患 / 年齢階級	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90歳-	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1										1
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症											0
薬剤耐性緑膿菌感染症											0
計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

## ◆ 性感染症について〔性感染症定点把握、2020年7月分〕

性感染症定点数：15（泌尿器科系：8、産婦人科系：7）

報告された患者数を性別でみると、男性では性器クラミジア感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマ、性器ヘルペスウイルス感染症の順に多く、女性では性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の順に多く報告がありました。今月の性感染症の報告数は男性178人、女性は43人でした。（表2、図1参照）

2020年7月分を年齢階級別に見ると、男性の性器クラミジア感染症は15歳以上の全ての年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は25歳以上の全ての年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは20歳から49歳および55歳以上の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は15歳以上の全ての年齢階級で報告がありました。女性では性器クラミジア感染症は15歳から39歳および50歳から54歳の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は15歳から39歳および45歳以上の年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは20歳から24歳および40歳から44歳の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は30歳から34歳の年齢階級で報告がありました（表2、図2参照）。

表1. 性感染症区別患者報告数(名古屋市)

2020年7月

疾患 / 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
性器クラミジア感染症	4		17	1	8	50	8			15	7	1		2	3	6	122
性器ヘルペスウイルス感染症			5	3		8	2	1			6	1		1	1	1	29
尖圭コンジローマ			4		2	2				7				3	1		19
淋菌感染症			10		3	19	3			11				2		3	51
計	4		36	4	13	79	13	1		33	13	2		8	5	10	221

STD定点数

1		2	1	1	2	1	1		1	1	1		1	1	1	1	15
---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	---	----

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

表2. 性感染症年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2020年7月

疾患 / 年齢階級	性別	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55歳-	計
性器クラミジア感染症	男性		5	22	23	7	16	12	6	3	3	97
	女性		4	7	8	4	1			1		25
性器ヘルペスウイルス感染症	男性				2	3	3	2	2	1	1	14
	女性		1	1	2	2	2		2	1	4	15
尖圭コンジローマ	男性			4	5	1	2	1	1		3	17
	女性			1				1				2
淋菌感染症	男性		1	16	12	4	5	7	3	1	1	50
	女性					1						1
計	男性		6	42	42	15	26	22	12	5	8	178
	女性		5	9	10	7	3	1	2	2	4	43

図1. STD各感染症が総報告数に占める割合(2020年7月)

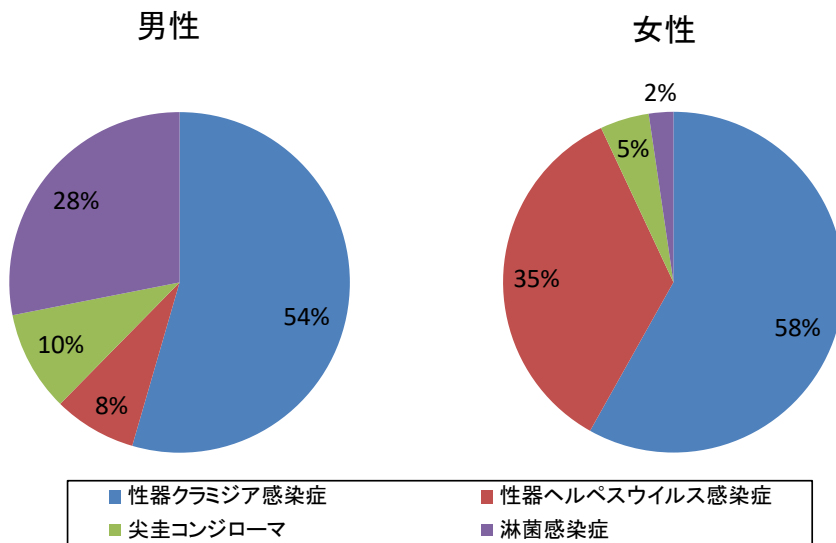


図2. 各STDの性別・年齢階級の定点あたり報告数(2020年7月)

